

防災の ススメ

「もしも」に備えを!

■防災対策課 ☎57-8501



避難情報は必ずしも段階的に発令されるものではありません。危険だと感じたら自己判断で避難しましょう!

ポイント

- 避難場所への避難が困難な場合は、近くの安全な場所に避難してください。気象情報に注意し、危険だと思ったら早めに避難してください。
- 避難する際には、火の始末、戸締まりを徹底し、非常持出品を持って速やかに避難してください。外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。
- 台風など避難までに時間のある場合は、食料品などを持って避難してください。

避難する時は周りの状況に気を付けて!



避難情報について知っておこう!

災害が発生するおそれが高まった場合などに生命・身体を災害から保護する事を目的に発令する情報として「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示(緊急)」があります。これらの違いをあらかじめ理解しておくことが「自らの身を守る」ことにつながります。※平成28年12月26日に「避難準備情報」が「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難指示」が「避難指示(緊急)」に変更されました

■避難準備・高齢者等避難開始

[発令時の状況]

災害が発生する可能性が高まった状況で発令する情報です。事態の推移によっては、「避難勧告」や「避難指示(緊急)」が発令される可能性があります。

お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子どもがいる方、避難に時間のかかる方、その避難を支援する方は避難を開始してください。

■避難勧告

[発令時の状況]

災害により、人的被害が発生する可能性が明らかに高まった状況で発令する情報で、災害に応じた指定避難所等の安全な場所への避難を促すものです。発令された地域の方は避難してください。

■避難指示(緊急)

[発令時の状況]

前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害が発生する危険性が非常に高い状況で発令する情報で、避難勧告よりも強く避難行動を促すものです。



物部川の洪水浸水想定区域を確認できます

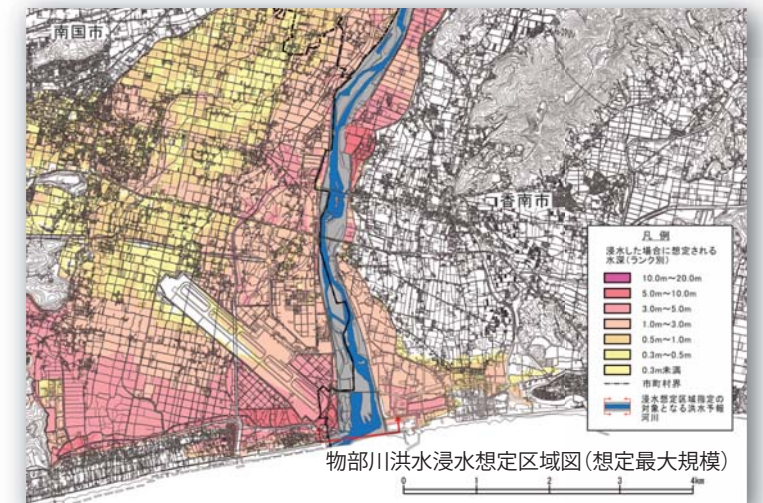
近年、時間雨量 50mm を超える短時間強雨や総雨量が数百 mm から千 mm を超えるような大雨による災害が全国各地で毎年のように発生しており、今後も大雨の頻発化、局地化、激甚化に伴う災害の発生が懸念されています。

国土交通省高知河川国道事務所ホームページで物部川の「洪水浸水想定区域図」が公表されています。被害想定を知り、災害時には安全な場所へ避難できるよう確認しておきましょう。

ホームページはこちらから!
<http://www.skr.mlit.go.jp/kochi>

高知河川国道事務所

検索



市長談話室

46

地域のみんなで子育て応援 ③



清藤真司

1月9日(月・祝)の第47回成人記念野市町内駅伝大会に、私を含め市役所3チームでエントリー。

昨年から職員とコースを何度か走り、大会に臨んだつもりが、年末年始の骨休めがたり、生涯最高体重での出走。

応援の声に応えたいのはやまやまでしたが、どうにも進んでくれない体…本当に苦しい時間帯でした。

「会議が長引き保育所に迎えに行けない」「学校の卒業式や入学式などの行事に小さい子どもを連れて行けない」「病院に行きたいけれど、子どもを見ないといけないし…」など、子育て中の「困ったな」や「どうしよう」は、仕事をしている、していないに関わらず誰もが経験すること。そんなときの心強い味方が、ファミリー・サポート・センター(通称Fファミサポ)です。住民同士が協力して子育てを支援するファミサポは国の補助事業で、センターの設置は市町村が行うことになっています。今年度、県が開所を促す独自の支援策を立ち上げたことから、香南市ではその補助制度を活用し、昨年11月に事業をスタートさせました。開所からまもなく3カ月。会員も少しずつ増えてきています。ファミサポを介し、地域での子育てを根付かせていきたいと思っています。

Fファミサポがつなぐ 子育ての輪

◆事前の顔合わせでお互い安心

Fファミサポは、子育て支援を受けた「おねがい会員」と、手助けができる「まかせて会員をつなぐところ。センターでは、アドバイザーが居住地などを考慮して両者を引き合わせ、お互いが

合意すればペアとなるしくみをとっています。

どちらも知らない人同士、最初は心配なのが当たり前。だからこそ、実施前のマッチングが大切で、お互いの安心がなければ成り立ちません。

◆うれしい利用者の声

利用者第1号は野市町の方で、依頼内容は保育所への迎えと依頼者の仕事が終わるまでの預かり。月4回ほどの利用で、1回1時間半から2時間程度。まかせて会員からは、「自分の孫を見ている感じ。若いお父さん、お母さんの手助けになれば」との頼もしい言葉。おねがい会員からは「事前打ち合わせで直接会うことで、安心して頼むことができました。子どもたちがお留守番できるようになるまでお願いしたい」といううれしい声が増えてきています。

現在の会員は、まかせて19人、おねがい10人、両方会員1人です。利用者も月1組から3組に増えるなど、少しずつ広がりをみせています。そして、まかせて会員からの声を受け、今月末に事故が起こったときの対応などについてのフォローアップ研修も実施されます。

Fファミサポは、現在子育て中の人にとっても、これから子育てをする人にとっても心強い味方になるはず。ファミサポで、広がれ子育ての輪!

おすすめの1冊

フランスはどう少子化を克服したか

高崎順子/著



この本は、著者が実際フランスで体験した子育て支援を記したものです。実は、今の日本の子育て施策はフランス国を参考にしたものがほとんどです。本の中で印象に残った『この国(フランス)では、親たちは孤立していません』のくだり。香南市での子育てのバイブルにしたいと思う本です。